

# 医療機関毎の具体的対応方針について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号 : 043-223-2457 メール : [chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp)



各医療機関の具体的対応方針の変更内容について、

- ① **2025年以降において担う役割や病床機能は、地域医療構想と整合的であるかどうか。**
- ② **その他、説明のあった変更の理由等については、地域医療構想に沿ったものであるか。**

以上の点について御協議をいただきたい。



## 「地域医療構想の進め方について【国通知】（H30.2.7）」

調整会議における具体的議論を促進するため、病院及び有床診療所に対して「具体的対応方針」の策定を、都道府県に対しては、毎年度、具体的対応方針を取りまとめ、地域医療構想調整会議で協議することが求められた。

### 【※具体的対応方針とは】

各医療機関が定める2025年を見据えた「構想区域において担うべき医療機関としての役割」や2025年に持つべき「医療機能ごとの病床数」等についての方針

## 調整会議における協議（H31.3）

### ● H31.3 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議開催

各病院等から報告のあった具体的対応方針について協議し、合意が得られた。

⇒その後、変更があった場合は、その都度協議を実施。

⇒ 具体的対応方針に変更があった場合は、引き続き協議をお願いいたします。

※千葉県ホームページから報告様式がダウンロードできます。報告に当たっては下記の様式を御使用ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議

# 具体的対応方針の変更について（印旛地域）



- 前回開催した印旛地域医療構想調整会議以降、3 医療機関が内容変更。  
※作成済の具体的対応方針の一覧表を更新
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、他の医療機関の方針も含めた地域の状況を確認しつつ、具体的対応方針に変更があった場合には、引き続き報告をお願いしたい。

## ○変更の報告のあった医療機関

	医療機関名（3 機関）
病院・診療所	①医療法人白翔会 千葉白井病院 ②医療法人社団 芽ばえの会 春成祥子レディースクリニック ③医療法人社団三樹会 ウイング土屋レディースクリニック

## ○当該圏域の病床機能の状況（R4.7.1）

※ 「休棟等」には非稼働や健診のための病棟等の他、報告対象医療機関のうち未報告の病床等を含む。  
 ※ 推計値の「休棟等」には、診療実績等のデータの欠損により分類不能となった病棟も含む。

区域	医療機能	必要病床数 (R7年) A	病床機能報告 (R4.7.1) B	差し引き B-A		定量的基準に基づく病床数		
						R4推計値 C	差し引き C-A	
印旛	高度急性期	594	1,559	965	過剰	689	95	過剰
	急性期	1,947	2,374	427	過剰	2,133	186	過剰
	回復期	1,625	634	▲991	不足	1,848	223	過剰
	慢性期	1,382	1,782	400	過剰	1,536	154	過剰
	休棟等	-	51			194		
	計	5,548	6,400	852	過剰	6,400	852	過剰

（単位：床）

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人白翔会
医療機関名	千葉白井病院
所在地	千葉県白井市復1439-2
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前（2025年）		○		○		○			○	○	
変更後（2025年）		○		○		○			○	○	
R0年見込み※											
その他の内訳及び補足等											

※R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

## 3 病床機能及び入院料

	変更前 (2025年)	変更後 (2025年)	R0年 見込み※	届出予定の入院料
4 機能 合計	床	床	床	
高度急性期	床	床	床	
急性期	45床	50床	床	急性期一般入院料 1
回復期	55床	50床	床	回復期リハビリテーション病棟入院料 2
慢性期	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	
休棟等	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	

※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

## 4 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

限られた病床数の中で、地域のニーズに合わせて、いかにスムーズに患者さんを受け入れていけるかを考えたため。
--

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団 芽ばえの会
医療機関名	春成祥子レディースクリニック
所在地	佐倉市大崎台 1-9-2
変更事項	<input checked="" type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前（2025年）								○			
変更後（2025年）											
R0年見込み※											
その他の内訳 及び補足等											

※R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

## 3 病床機能及び入院料

	変更前 (2025年)	変更後 (2025年)	R0年 見込み※	届出予定の入院料
4 機能 合計	床	床	床	
高度急性期	床	床	床	
急性期	10床	0床	床	
回復期	床	床	床	
慢性期	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	
休棟等	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	

※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

## 4 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

病床の廃止
-------

## 病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

## 1 基本情報

法人名	医療法人社団三樹会
医療機関名	ウイング土屋レディースクリニック
所在地	千葉県成田市ウイング土屋

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

## 2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input type="checkbox"/> 新築(建替含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
------	-----------------------------------	--	-----------------------------	------------------------------------

## 3 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前 (2025年)								○			
変更後 (2025年)								○			
整備後 (R○年) ※											
その他の内訳 及び補足等											

※R8年以降に整備予定がある場合は、整備後の見込みを記載ください

## 4 整備後の診療科

診療科名	整備前	産科、婦人科
	整備後	産科、婦人科

## 5 病床機能及び入院料

	整備前	2025年		整備後 (R○年) ※	届出予定の入院料
		変更前	変更後		
4機能 合計	床	床	床	床	
高度急性期	床	床	床	床	
急性期	床	9床	13床	床	有床診療所入院基本料
回復期	床	床	床	床	
慢性期	床	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	床	
休棟等	床	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	床	

※R8年以降に整備予定がある場合は、整備後の見込みを記載ください

6 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

別紙にて増築・増床の経緯及び今後の役割についてご説明しております。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

当院が位置するウイング土屋は、成田赤十字病院や旭中央病院、東邦大佐倉病院と病診連携をスムーズに行えるエリアです。地域の医療機関との連携は不可欠であり、地域医療に貢献することは大変重要と考えています。

具体的には現状でも成田赤十字病院の先生方を講師に迎え、勉強会などを実施して病診連携の強化を図っています。

8 整備スケジュール

供用開始予定	2024年 9月予定
その他補足	工事や申請の進捗により、多少前後する場合がございます。



# ウイング土屋レディースクリニック

## 増築・増床の概要

### 医療法人社団三樹会について

2021年、医療法人社団もりかわ医院から医療法人社団三樹会へと名称を変更し、千葉県いすみ市だけであった診療所を成田市にも開業しました。

もりかわ医院は、産科・婦人科を標榜する診療所であり、市からの委託を受けて産後ケアにも力を入れております。20年以上の実績があり、地域に密着した診療所です。

新たに開業した成田の診療所は、既存の診療所である「いしいクリニック」の事業を譲り受け、「ウイング土屋レディースクリニック」と名称変更して開設しました。

### ウイング土屋レディースクリニックについて

開設した経緯は、成田市は都市部からの人口流入が多いにもかかわらず、成田赤十字病院をはじめとした産科医療機関が少数であることから、出産件数の安定化が必要であり、開設しました。

「患者がリラックスできるアットホームな産婦人科」を掲げ、地域に根ざした産婦人科として、患者の希望に沿った診療を提供できるよう、心地よい診療提供及び診療レベルの向上を図っています。待ち時間削減のための予約制、健診の際の「4D超音波」を導入し、平日忙しく通院が困難な方にも来院していただけるように、土日診療も行っています。

### 増築・増床について

「常に患者ファーストを」を心がけておりますが、2021年開設以来、順調に来院患者数が増加しており、医師3名（うち2名は理事）ほか助産師などスタッフも常勤しているものの、病床不足から分娩を受け入れられない状況であります。

前決算期（令和3年10月から令和4年9月）の分娩件数の月平均は26件、令和5年1月から7月の分娩件数は月平均33件となり、前年同月比較で1.5倍となりました。また、外来患者数は1日平均63人であり、当初見込みである1日平均20人を大幅に上回る数値となっています。

前述のとおり、大幅に患者数が増加しているものの、既存の9床では受け入れ患者数に限界があり、患者のご要望にこたえるために増築・増床を計画しています。4床の増床により受け入れ患者数を増やし、分娩についてもより安定した体制をとっていきます。

## 今後について

後継者不在の問題により、分娩可能な診療所が減少する中で、森川理事長よりウイング土屋レディースクリニックの院長を引き継いだ御子柴医師は40代と若く、医療レベルの向上にも積極的です。医師数も安定しており、長期にわたって継続していく環境がととのっております。

成田赤十字病院をはじめとする他医療機関と連携し地域医療の発展に貢献し、地域の方により安心して来院していただけるよう努めていく所存です。

以上、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 参考

### 【当該施設現況】

名称：ウイング土屋レディースクリニック

診療科：産科・婦人科（分娩を取り扱う診療所）

所在：千葉県成田市ウイング土屋 163

建物：鉄筋コンクリート造陸屋根 3階建 延 849.69 m<sup>2</sup>

病床：9床

医師：3名

総従業員数：37名

### 【増築・増床予定】

増・改修面積：92.40 m<sup>2</sup>

内 増築：1階 34.188 m<sup>2</sup>、2階 34.188 m<sup>2</sup>

改修：24.024 m<sup>2</sup>

増床：4床